

# はじめに

令和5年度の上伊那保健体育研究会の実践や研究の成果、歩みが、本年度の「高嶺」としてまとめられ、ここに発刊されました。

本年度は、5月に新型コロナウイルスの感染法上の分類が引き下げられ、各学校の行事や研修等も、コロナ禍前の状態に戻りつつある1年間でした。長いコロナ禍で、以前の活動の記憶が薄れる中、またコロナ禍の経験から活動の見直しを図る必要を感じる中、手探りの部分が少なくはなかったと思います。そんな中、上伊那保健体育研究会では、会員の皆さんの積極的な事業への参加や協力により、充実した活動が行えたことに感謝いたします。

本年度は、久しぶりに100名を超える入会があり、若手の活躍もあって、活気ある上伊那体研が戻ってきたように感じました。年度当初、学習指導研究会の授業校をお願いするのに手間取って心配された部分もありましたが、手良小学校、春富中学校で授業校を引き受けてくださり、柳澤侑哉先生、松村遥先生に、授業者としてご苦労いただきました。

7月28日(金)に、南箕輪小中学校をお借りして行った夏期研修会には、大勢の会員にご参加いただき、手良小学校、春富中学校が取り組もうとしていた授業の領域・内容について、教材研究と授業づくりを進めていただきました。本年度は、実技講習会を早めに行い、その後の授業に生かしていきたいという願いから、夏期研修会に併せて時間をとる予定でいましたが、研究部からの「授業づくりにしっかり時間をとりたい」という申し出から、実技講習会は日を改めて開催することとして、終日授業づくり研究会に取り組んでいただきました。

研究部の皆さんの多大な協力と授業者のお二人のご苦労があって、10月30日(月)の学習指導研究会当日には、児童・生徒が運動に向かい合い、生き生きと活動する授業をご提供いただきました。誠に感謝申し上げます。また、信州大学教育学部教授 岩田靖先生にも、これまでに引き続きご指導いただき、本会の研究に関するご講演をいただきました。研究内容や成果、岩田先生の講演については、この高嶺に記載されています。会員の皆様には、今後の授業づくりに生かせるよう、今一度目を通していただければと思います。

11月28日(火)に箕輪中学校を会場に行われた実技講習会も、大変有意義な会となりました。こちらでも会員からの提案により、実技講習の講師として、上伊那体研の研究に深く関わってくださっている信州大学の岩田靖教授をお招きしました。ネット型、ベースボール型の系統的な教材づくりについて学びながら、教材体験を行うことができました。

実技講習会の日に、学習指導研究会の慰労会ということで懇親会を実施する事もできました。岩田教授にもご参加いただき、楽しい時間を過ごすことができたのも、嬉しい本年度の場面でした。

文科省の体育実技伝達講習会には、赤澤太一先生（西箕輪小学校）、山浦真洸先生（新山小学校）、松村遥先生（春富中学校）にご参加いただき、上伊那での伝達にご尽力いただきました。県の代表として指導力向上研修（於宮城県）に参加していただいた大内順平先生（新山小学校）はこの伝達講習会の講師をお務めになりました。ありがとうございました。

上伊那体研の事業は、体育の授業を充実させ、児童・生徒が体育を通していかに成長することができるのかを追究するものです。予測不能と言われる今の世の中で、子ども達がつけるべき力について、学校に求められるものも変わってきています。教科書がない体育授業については、現場の教師が、より適切な授業を追究し続ける必要があります。我々体育研究会の会員は、仲間と一緒にその追究を今後も続けていきたいと思っております。その場だけの授業づくりに終わらず、今後の体育授業の発展につなげて行かれるよう、共に頑張りましょう。

令和6年3月

上伊那保健体育研究会 会長 曾根原 浩（伊那市立新山小学校）